

姫路顕栄教会

# エピファニー・タイムス

【住所】〒671-1152 姫路市広畑区小松町 4-36

編集責任者 牧師・司祭 ミカエル小南 晃

## 大 齋 節

～悔い改めの季節～

今や、恵みの時、今こそ救いの日。

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 6:2)

大齋節に入り、祭壇のフロントルや式服のストールなどは悔い改めを表わす祭色である紫色が用いられています。

何故、紫色が悔い改めの色なのか？

それは一つには打身で出来た痛々しい痣（あざ）の色だとも言われています。

そうしますと悔い改めとは、自分の肉体を痣ができるまで打ち叩いてでも霊に従わせよと言われているように思われて、たじろいでしまうかも知れません。

しかしキリスト者にとっての悔い改めとは、主イエス・キリストが私たちの罪を贖うために苦しみを忍ばれたことを思い起こすことから始まります。

痣の色としての紫色とは、私たちの罪を贖うために鞭打たれつつ十字架の道を歩まれた主イエスの苦しみを思い起すためのものです。

そしてそのようにしてまでも、私たちを罪から救おうとなさっている主イエスの愛に触れて、感謝をもって主の前に謙り、そして生き方を根本から変えること、と言うよりも変えられることが悔い改めです。

悔い改めとは陰鬱な顔つきをして、延々と後悔し続けることではなく、生き方そのものの方向転換をすることです。それは確かに己に打ち勝たねばならない試練でもありますが、その根底においては心機一転して新しい人生を歩みだす、新鮮で澁刺とした喜びに溢れることでもあります。

ですから悔い改めの時とは「今や、恵みの時、今こそ、救いの日」に他なりません。

大齋節は復活日に受洗する人々の洗礼準備期間から始まりました。やがて既に信徒となっていた者たちも、洗礼志願者たちと共に信仰の初心に立ち帰ることに努めるようになりました。それは日々十字架を負って主に従う道を歩みながら、新たなる悔いる心が与えられる恵みを求めていくこととも言えます。

この大齋節に、私たちもそうした歩みが出来ますように祈り求めたいと思います。

2023年度 信仰の標語「信仰の喜びを深め、ひろげよう」

聖語「御言葉を宣べ伝えなさい。折りが良くても悪くても励みなさい」

(テモテへの手紙Ⅱ 第4章2節)

2023年度活動目標

1. 聖書研究会再開：聖書を読み、また信仰の学びに努めよう。
2. 聖日礼拝の再開：祈りの生活をさらに目指そう。
3. 新集会室（エピファニーホール）の活用。
4. 教会諸資料・書類の適切な管理・保管及び活用を目指そう。
5. 福音宣教につながる「楽しい」企画の実施。